

横浜市立下郷小学校 平成31年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
自分らしさを大切にし、互いに思いやり認め合いながら共に伸びていく子どもの育成	(体) 自他の生命を尊び、自らの健やかな体をつくる力を育てます。

(2) 中期取組目標

中期取組目標
【中期学校経営方針「健やかな体」達成目標】 ◎家庭と連携しながら、基本的な生活習慣の確立を励行していきます。また、一校一実践運動を通して体力の向上を目指します。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	◎家庭との連携を図りながら、児童が自分自身の健康について考えられるようにする。 また、生活習慣の見直しとともに運動に親しむ資質を育てる。 ◎体育科の学習ではより多くの運動に触れる機会を増やし、運動することの楽しさを味わって、進んで運動しようとする態度を育てる。
担当	◎自尊心を育み、自分自身を大切にする気持ちを育てるとともに、集団生活を通して、他者を大切にしようとする気持ちを育てる。 体育部

2 体育・健康に関する実態把握

【児童生徒の体育・健康面の姿】

- ・「50m走」がほぼ全学年で横浜市の平均を下回る結果となっている。また「ソフトボール投げ」や「上体おこし」、「反復横跳び」長座体前屈」でも下回る学年が目立つ。
- ・地域に「サッカー」「野球」「バスケットボール」などのチームが複数ある。参加している児童とそうでない児童の運動経験の差が大きい。また、公園が多いものの、遊んでいる姿が多くはない。
- ・朝食の摂取率は低くはないが、複雑な家庭環境の児童も少なくはないため、児童間で差がある。また、幼少期の遊びの経験に差があるまま、入学してくる傾向が見られる。
- ・保健室の利用状況は、怪我の治療だけではなく、精神的な不安を除く場所として利用する児童もいる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

【体育科・保健体育科での取組】

- ・横浜版学習指導要領をもとに各学年の学習計画を作成し、学習を進める。
- ・運動量の確保と技能の高まりを意識した授業を行う。
- ・保健の授業を計画的に行い、養護教諭や栄養士などによる授業も取り入れる。

【他教科での取組】

- ・家庭科では、食育との関連を図り、自身の生活を見直したり、健康に気をつけたりする資質を育てる。
- ・道徳では、各学年で安全や健康に関する教材を取り入れ、学年に応じて指導する。

特別活動・総合的な学習の時間

- ・特別活動の中に、食育、性教育などを位置づけ、継続的に健康に関する指導を行っていく。
- ・運動会では、体育科で培った能力をさらに発展して、一人ひとりの活動を充実させ、運動する喜びや集団で運動することの楽しさを味わうことができるようにする。
- ・委員会活動の取組として、運動に親しむ活動を取り入れる。
- ・朝の時間や休み時間を活用し、運動に親しむ活動を取り入れる。

課外活動

- ・朝の保健指導の時間を月1回実施し、健康について全校で共通に考える時間を設ける。
- ・学校保健委員会を年2回開催し、運動や健康に関するテーマを設定し、他校の児童や保護者を含め、全校で考え、取り組んでいく。
- ・各学年に応じて食育を行い、給食を通して食の大切さを考え、食や健康に関することに興味をもつようにする。
- ・保健室では、怪我や病気の治療だけではなく、学校生活を豊かに送れるように声をかけたり、時間を過ごしたりできるような場所であることを目指す。

平成31年度 下郷小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 **長縄を使った運動の推進。持久力の向上**

《ねらい》 **自分や学級で目標を設定し、多くの友達と関わり合ったり、学び合ったりすることで、運動に親しむ資質を養う。**

《内容》 **委員会活動を生かした取組（朝の時間・休み時間等）**

●指 標： **「体力・運動能力調査」**